

事前評価個表

事業名	森林水環境総合整備（国有林）	事業計画期間	平成20～24年度						
事業実施地区名 （都道府県名）	せんびろ かもすけ 千尋・加茂助地区 （三重県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 三重森林管理署						
事業の概要・目的	<p>千尋・加茂助地区は、三重県多気郡大台町の西部、宮川ダム上流の大杉谷国有林に位置し「吉野熊野国立公園」にも指定されている 当地区は、平成16年の台風23号により山腹崩壊及び溪流荒廃が発生した。併せて林道も決壊したことから、被災箇所の対策が不能となり、現在も崩壊地、溪流内には不安定土砂が堆積している。 自然環境の維持・保全及び水源かん養等公益的機能の発揮が求められる地域であり、今回、林道が通行可能となったことから、山腹、溪流の安定化及び森林整備による水土保持保全機能の回復・向上と下流域の保全のため対策事業を実施する。</p> <p>主な事業内容</p> <table> <tr> <td>溪間工</td> <td>4基</td> </tr> <tr> <td>山腹工</td> <td>0.36 ha</td> </tr> <tr> <td>本数調整伐</td> <td>166 ha</td> </tr> </table>			溪間工	4基	山腹工	0.36 ha	本数調整伐	166 ha
溪間工	4基								
山腹工	0.36 ha								
本数調整伐	166 ha								
費用対効果分析	総費用（C）	212,592千円							
	総便益（B）	水源かん養便益	1,553,392千円						
		山地保全便益	169,151千円						
		環境保全便益	0千円						
		災害防止便益	0千円						
		計	1,722,543千円						
	分析結果（B/C）	8.10							
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 山腹崩壊、溪流荒廃及び、下層植生衰退のため放置すれば、今後の集中豪雨等により荒廃拡大による土砂流出が発生する恐れが非常に高い。 水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 事業の実施により、森林の安定化が図られ水土保持機能の発揮が見込まれることから、有効性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>								

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成20～21年度
事業実施地区名 （都道府県名）	津灰地区 （京都府）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 京都大阪森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>津灰地区は、京都府綾部市の東部、一級河川上林川上流部の古屋国有林に位置している 当地区は、近年の集中豪雨により山腹崩壊及び溪流荒廃が発生。崩壊地、溪流内には現在も不安定土砂が堆積する状況にある。 下流には集落、田畑が所在し、水源かん養等公益的機能の発揮が求められる地域であることから、早急な対策が必要である。 このため、山腹及び溪流の安定化による水土保持保全機能の回復・向上と下流域の保全のため対策事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基 山腹工 0.40ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	57,618千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	5,391千円
		山地保全便益	0千円
		環境保全便益	0千円
		災害防止便益	120,306千円
		計	125,697千円
	分析結果（B/C）	2.18	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地及び溪流に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば今後の集中豪雨等により、崩壊地の拡大と、それに伴う溪流荒廃による下流への土砂流出の恐れが高い。水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、山腹の安定が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	環境防災林整備（国有林）	事業計画期間	平成20年度
事業実施地区名 （都道府県名）	観喜山地区 （京都府）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 京都大阪森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>観喜山地区は、京都府京都市の西部、一級河川桂川の支流清滝川沿いの観喜山国有林に位置し、都市計画法による「風致地区」に指定されている。</p> <p>当地区は、山腹斜面が侵食を受け、表土の移動が発生。現在も侵食が進行する状況にあるが、市道、東海自然歩道沿いで、自然環境の維持・保全及び土砂流出防止等公益的機能の発揮が求められる地域であることから、早急な対策が必要である。</p> <p>このため、山腹の安定化による水土保持機能の回復・向上と下流域の保全のため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.40 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	24,038千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	8,422千円
		山地保全便益	72,307千円
		環境保全便益	0千円
		災害防止便益	0千円
		計	80,729千円
	分析結果（B/C）	3.36	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 山腹斜面に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば今後の集中豪雨等により、荒廃の拡大による下流への土砂流出の恐れが高い。 水土保持機能の発揮による下流域及び自然環境の保全等、当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 事業の実施により、山腹の安定が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成20年度
事業実施地区名 （都道府県名）	おばこだけ 伯母子岳地区 （奈良県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 奈良森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>伯母子岳地区は、奈良県吉野郡野迫川村の南部、一級河川川原樋川上流の伯母子国有林に位置している。</p> <p>当地区は、近年の集中豪雨等により山腹崩壊及び溪流荒廃が発生し流出土砂が林道を閉塞させるなど被害を及ぼした。</p> <p>溪流内には現在も不安定土砂が堆積する状況にある。</p> <p>下流には風屋ダムが所在し、水源かん養等公益的機能の発揮が求められる地域であることから、早急な対策が必要である。</p> <p>このため、溪流の安定化による水土保持機能の回復・向上と下流域の保全のため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	28,846千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	7,566千円
		山地保全便益	0千円
		環境保全便益	0千円
		災害防止便益	57,705千円
		計	65,271千円
	分析結果（B/C）	2.26	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪流に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば今後の集中豪雨等による、下流への土砂流出の恐れが高い。水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、溪床の安定が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成20～22年度
事業実施地区名 （都道府県名）	あじゃり 阿舎利地区 （兵庫県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 兵庫森林管理署
事業の概要・目的	<p>阿舎利地区は兵庫県宍粟市の北部、一級河川上流の阿舎利国有林に位置している。</p> <p>平成16年の台風23号により山腹崩壊及び倒木等の被害が発生した。山腹崩壊地には現在も不安定土砂が堆積する状況にある。</p> <p>下流には集落、田畑が所在し土砂流出防止等公益的機能の発揮が求められる地域であることから、早急な対策が必要である。</p> <p>このため、山腹及び溪流の安定化による水土保持機能の回復・向上と下流域の保全のため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基 山腹工 0.98 ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	117,534千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	23,156千円
		山地保全便益	0千円
		環境保全便益	0千円
		災害防止便益	280,184千円
		計	303,340千円
	分析結果（B/C）	2.58	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊及び溪流荒廃のため、荒廃拡大による土砂流出が発生する恐れが非常に高い。 水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、山腹の安定化が図られ水土保持機能の発揮が見込まれることから、有効性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成20年度
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>あいや</small> 鮎屋地区 （兵庫県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 兵庫森林管理署
事業の概要・目的	<p>鮎屋地区は、兵庫県洲本市の南部、二級河川洲本川上流の鮎屋国有林に位置している。</p> <p>平成16年の台風23号により既設溪間工が損壊するなど溪流の荒廃が著しい状況にある。</p> <p>下流には農業用ため池及び鮎屋ダムが所在し、土砂流出防止等公益的機能の発揮が求められる地域であることから、早急な対策が必要である。</p> <p>このため、溪流の安定化による水土保持機能の回復・向上と下流域の保全のため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	81,731千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	62,814千円
		山地保全便益	0千円
		環境保全便益	0千円
		災害防止便益	107,105千円
		計	169,919千円
	分析結果（B/C）	2.08	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 溪流に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば今後の集中豪雨等による、下流への土砂流出の恐れが高い。水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、溪床の安定が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成20年度
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>くもんだににし</small> 公門谷西地区 （和歌山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署
事業の概要・目的	<p>公門谷西地区は、和歌山県田辺市の東部、一級河川三越川上流の公門谷国有林に位置している。</p> <p>当地区は、近年の集中豪雨等により溪流荒廃が発生し、流出土砂が林道を閉塞させるなど被害を及ぼした。</p> <p>溪流内には現在も不安定土砂が堆積する状況にある。</p> <p>水源かん養等公益的機能の発揮が求められる地域であることから、早急な対策が必要である。</p> <p>このため、溪流の早期安定化による水土保持機能の回復・向上と下流域の保全のため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	38,462千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	29,879千円
		山地保全便益	0千円
		環境保全便益	0千円
		災害防止便益	103,170千円
		計	133,049千円
	分析結果（B/C）	3.46	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 溪流に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば今後の集中豪雨等による、下流への土砂流出の恐れが高い。水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 事業の実施により、溪床の安定化が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成20～22年度
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>じゅうほうざんほんたに</small> 鷲峰山本谷地区 （鳥取県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 鳥取森林管理署
事業の概要・目的	<p>鷲峰山本谷地区は、鳥取県鳥取市の西部、二級河川河内川上流の鷲峰山国有林に位置している。</p> <p>当地区は、平成17年の集中豪雨により山腹崩壊が発生し、現在も不安定土砂が堆積する状況にある。</p> <p>下流には田畑、集落が所在し、また付近には中国自然歩道が整備されており、自然環境の維持・保全及び土砂流出防止等公益的機能の発揮が求められる地域であることから、早急な対策が必要である。</p> <p>このため、山腹の安定化による水土保持機能の回復・向上と下流域の保全のため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基 山腹工 0.21ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	82,849千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	8,310千円
		山地保全便益	0千円
		環境保全便益	0千円
		災害防止便益	174,865千円
		計	183,175千円
	分析結果（B/C）	2.21	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば今後の集中豪雨等により、拡大崩壊による下流への土砂流出の恐れが高い。 水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、崩壊地の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成20年度
事業実施地区名 （都道府県名）	^{ひびらがわ} 日平川地区 （島根県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 島根森林管理署
事業の概要・目的	<p>日平川地区は、島根県邑智郡美郷町の南部、一級江の川下流部の艾山国有林に位置している。 近年の集中豪雨により溪流荒廃が発生。崩壊地には現在も不安定土砂が堆積する状況にある。 下流には県道、集落が所在しており、土砂流出防止等公益的機能の発揮が求められる地域であることから、早急な対策が必要である。 このため、溪流の安定化による水土保持機能の回復・向上と下流域の保全のため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	14,423千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	1,425千円
		山地保全便益	0千円
		環境保全便益	0千円
		災害防止便益	26,230千円
		計	27,665千円
	分析結果（B/C）	1.92	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 不安定土砂の状況から、放置すれば今後の集中豪雨等により、溪流荒廃拡大による下流への土砂流出の恐れが高い。水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、溪床の安定が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成20～21年度
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>かねひでがわ</small> 兼秀川地区 （岡山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 岡山森林管理署
事業の概要・目的	<p>兼秀川地区は、岡山県真庭市の東部、一級河川兼秀川上流部の杉ノ子国有林に位置している。</p> <p>近年の集中豪雨により山腹崩壊が発生。崩壊地には現在も不安定土砂、倒木が堆積する状況にある。</p> <p>下流には県道、集落が所在しており、土砂流出防止等公益的機能の発揮が求められる地域であることから、早急な対策が必要である。</p> <p>このため、山腹の安定化による水土保持機能の回復・向上と下流域の保全のため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.60ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	40,865千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	9,600千円
		山地保全便益	81,666千円
		環境保全便益	0千円
		災害防止便益	0千円
		計	91,266千円
	分析結果（B/C）	2.23	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば今後の集中豪雨等により、山腹崩壊や溪流荒廃拡大による下流への土砂流出の恐れが高い。 水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、崩壊地の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成20～22年度
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>くぎぬきがわ</small> 釘貫川地区 （岡山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 岡山森林管理署
事業の概要・目的	<p>釘貫川地区は、岡山県真庭市の東部、一級河川釘貫川上流部の三阪山国有林に位置している。</p> <p>近年の集中豪雨により山腹崩壊が発生。崩壊地には現在も不安定土砂、倒木が堆積する状況にある。</p> <p>下流には県道、集落が所在しており、土砂流出防止等公益的機能の発揮が求められる地域であることから、早急な対策が必要である。</p> <p>このため、山腹、溪流の安定化による水土保持機能の回復・向上と下流域の保全のため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 2基 山腹工 0.16ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	41,223千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	8,651千円
		山地保全便益	0千円
		環境保全便益	0千円
		災害防止便益	119,226千円
		計	127,877千円
	分析結果（B/C）	3.10	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば今後の集中豪雨等により、山腹崩壊や溪流荒廃拡大による下流への土砂流出の恐れが高い。 水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、崩壊地の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成20年度
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>あおやなぎ</small> 青柳地区 （岡山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 岡山森林管理署
事業の概要・目的	<p>青柳地区は、岡山県津山市の北部、一級河川加茂川上流部の黒木国有林に位置し、「氷ノ山後山那岐山国定公園」に指定されている。</p> <p>平成18年の集中豪雨により山腹崩壊が発生。崩壊地には現在も不安定土砂、倒木が堆積する状況にある。</p> <p>下流には市道、黒木ダムが所在しており、自然環境の維持・保全及び水源かん養等公益的機能の発揮が求められる地域であることから、早急な対策が必要である。</p> <p>このため、山腹の安定化による水土保持機能の回復・向上と下流域の保全のため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.06ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	18,029千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	7,184千円
		山地保全便益	0千円
		環境保全便益	0千円
		災害防止便益	71,138千円
		計	78,322千円
	分析結果（B/C）	4.34	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 山腹崩壊地に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば今後の集中豪雨等により、山腹崩壊拡大による下流への土砂流出の恐れが高い。 水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 事業の実施により、崩壊地の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	予防治山（国有林）	事業計画期間	平成20年度
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>しるやま</small> 城山地区 （岡山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 岡山森林管理署
事業の概要・目的	<p>城山地区は、岡山県岡山市の北部、一級河川旭川下流部の城山国有林に位置し、「吉備清流県立自然公園」に指定されている。</p> <p>山腹斜面に風化侵食が進行した基岩が露出し、剥離落下する恐れがある。</p> <p>直下には県道、人家が所在しており、自然環境の維持・保全及び落石防止等公益的機能の発揮が求められる地域であることから、早急な対策が必要である。</p> <p>このため、山腹の安定化による水土保持機能の回復・向上と下流域の保全のため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.01ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	9,615千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	746千円
		山地保全便益	0千円
		環境保全便益	0千円
		災害防止便益	16,692千円
		計	17,438千円
	分析結果（B/C）	1.81	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹の状況から、放置すれば今後の集中豪雨等により、道路等へ落石等による被害を及ぼす恐れが高い。 水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、山腹の安定化が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成20年度
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>ひらはらやまひがし</small> 平原山東地区 （広島県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署
事業の概要・目的	<p>平原山東地区は、広島県安芸高田市の中心部、一級河川江の川中流部の平原山国有林に位置している。</p> <p>平成18年の集中豪雨により山腹崩壊とその流出土砂による溪流荒廃が発生。溪流内には現在も不安定土砂が堆積する状況にある。</p> <p>下流には集落、国道が所在しており、土砂流出防止等公益的機能の発揮が求められる地域であることから、早急な対策が必要である。</p> <p>このため、溪流の安定化による水土保持機能の回復・向上と下流域の保全のため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	17,308千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	2,770千円
		山地保全便益	0千円
		環境保全便益	0千円
		災害防止便益	92,959千円
		計	95,729千円
	分析結果（B/C）	5.53	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 溪流に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば今後の集中豪雨等により、溪流荒廃拡大による下流への土砂流出の恐れが高い。 水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 事業の実施により、溪床の安定が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成20年度
事業実施地区名 （都道府県名）	ささがまるやま りんばん 笹ヶ丸山51林班地区 （広島県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島森林管理署
事業の概要・目的	<p>笹ヶ丸51林班地区は、広島県広島市の北部、一級河川太田川中流部の笹ヶ丸山国有林に位置している。</p> <p>平成17年の集中豪雨により山腹崩壊が発生し、市道を閉塞させた。崩壊地には現在も不安定土砂が堆積する状況にある。</p> <p>直下には市道、溪流は「宇賀峡」として市民の憩いの場となっている。</p> <p>自然環境の維持・保全及び土砂流出防止等公益的機能の発揮が求められる地域であることから、早急な対策が必要である。</p> <p>このため、山腹の安定化による水土保持機能の回復・向上と下流域の保全のため事業を実施する。</p> <p>主な事業内容 山腹工 0.19ha</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	28,846千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	15,878千円
		山地保全便益	106,737千円
		環境保全便益	0千円
		災害防止便益	0千円
		計	122,615千円
	分析結果（B/C）	4.25	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 山腹崩壊地に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば今後の集中豪雨等により、拡大崩壊と、下流への土砂流出の恐れが高い。 水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業の実施が必要である。 ・有効性： 事業の実施により、崩壊地の復旧が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	復旧治山（国有林）	事業計画期間	平成20年度
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>らんげいこくじょうりゅう</small> 羅漢溪谷上流地区 （広島県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 広島森林管理署
事業の概要・目的	<p>羅漢溪谷上流地区は、広島県廿日市市の西部、一級河川小瀬川上流部の黒打山国有林に位置している。</p> <p>平成16年の集中豪雨により溪流荒廃が発生。下流の国道を閉塞させた。</p> <p>下流の溪流は「羅漢溪谷」として、ドライブコース等憩いの場となっており、自然環境の維持・保全及び土砂流出防止等公益的機能の発揮が求められる地域であることから、早急な対策が必要である。</p> <p>このため、溪流の安定化による水土保持機能の回復・向上と下流域の保全のため事業を実施する。</p> <p style="text-align: center;">主な事業内容 溪間工 1基</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	10,577千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	2,481千円
		山地保全便益	0千円
		環境保全便益	0千円
		災害防止便益	23,257千円
		計	25,738千円
	分析結果（B/C）	2.43	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 溪流に堆積する不安定土砂の状況から、放置すれば今後の集中豪雨等により、溪流荒廃拡大による下流への土砂流出の恐れが高い。 水土保持機能の発揮による下流域の保全等、当事業の実施が必要である。 ・ 有効性： 事業の実施により、溪床の安定が図られ、水土保持機能が維持・向上されることから有効性は認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、復旧対策により林地崩壊等の発生や下流域等への被害などの山地災害の防止効果について、効率的に計画されているものと認められる。</p>		